

三島支部

広報部

「愛着に課題のある子どもの支援」

茨木市立春日小学校では、NPO 法人ラヴィータ研究所子どもの発達相談センター・リソース「和」所長 米田 和子先生の後任として、梅花女子大学/大学院の伊丹 昌一先生がここ数年3回の割合で課題のある児童を中心に授業の様子を見られ、小学校の先生方に助言をされてこられました。

その関係で、7月24日(火)午前10時より正午まで茨木市内のクリエイトセンター2階多目的ホールにおいて、茨木市立西中学校区ブロック保幼小中合同研修会の講師として、伊丹 昌一先生が上記タイトルについて愛着障がいを持つ児童に対する支援の手立てについて具体例を基に分かりやすく説明して下さいました。

特に反応性愛着形成不全(RAD)の行動特徴、RAD と発達障がいとの差、児童虐待、場面緘黙の児童への対応を中心に休憩なしで、出席者約80人を前にお話して下さいました。

11時半頃から正午まで、質疑応答の時間も取って下さり、小学校の先生からの、過去に虐待体験のある児童への対応や家庭学習(宿題)が出来ない児童への対応にアドバイスをして下さいました。

